



# 西中だより

第26号 令和6年1月24日(水)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

## 1月9日始業式・・・まとめの3学期が始まりました

1月9日に3学期の始業式が行われました。

各学年の代表の生徒から決意表明がありましたが、1年生からは下級生を迎え中堅学年に、2年生からは西中を引っ張る最上級生に、3年生からは受験を経て高校という新たなステージに向かう時期であることを踏まえた力強い発表でした。右の写真のように、他の生徒も真剣に代表生徒の話に耳を傾けていました。



私の話の中では、「今、ここ」を大切に、夢や目標に向かって日々の積み重ねをしていってほしいということとともに、1月1日に起きた能登半島地震に際し、亡くなられた方々への哀悼の意を示し、被災地に1日も早い日常が戻るよう、全生徒、全職員で黙禱を捧げました。

## 続けて、生徒会引継式が行われました

始業式に続き、生徒会主催で、生徒会引継式が行われました。

これは、現生徒会執行部から新生徒会執行部へと仕事を引き継ぐ式です。

ステージ上で、現生徒会の会長、副会長3名から、新執行部の役員に、生徒会旗、生徒会印、資料綴りが渡されました。



現生徒会長からは、今年度はコロナ5類移行で様々な行事や日常の活動が4年ぶりに正常化していく中で、従来の様子を知っている生徒が誰もいないので、手探りで取組を進めたが、結果的に、そのことが新しい歴史を作ることになったことが話されました。新生徒会長からは、先輩方がつくってきた「誇れる西中」をさらに発展させていきたいという決意が語られました。壇上の新旧生徒会役員はもとより、参加生徒全員がピリッとした良い雰囲気の中で、式が行われ、西中の良い伝統が引き継がれていこうという期待が膨らみました。

## 能登半島地震に関する募金活動



新旧生徒会合同の取組として、先週、登校時に玄関での募金活動が行われました。事前の生徒会の呼びかけにこたえ、多くの生徒が協力してくれました。現在、集計中ですが、協力していただいた義援金は、日本赤十字などの機関を通して、被災地の方々の生活の支援に役立ててもらっています。

11年前に起きた東日本大震災の記憶がない生徒たちにとっては、はじめて目の当たりにする大地震になるかと思います。中学生にできることは限られているかもしれませんが、「忘れないでいること」「関心を寄せ続けること」が大事ではないかと、私は思っています。私は、東日本大震災発生から約4ヶ月後に、当時の仕事の関係(市教育委員会に勤務し、仙台市の学校現場への支援に関する業務をしていたことがありました)で、被災地

の仙台市を訪れたことがあります。その時に、仙台市の教育委員会の方や学校の先生方が、「忘れないでいてもらうことが力になる」という話をしていたのが強く印象に残っています。

学校でも、災害はいつ襲ってくるかわからないことを念頭に、実践的な防災訓練など、日頃の備えを十分にしていきたいと思えます。

＝保護者の皆様へ＝ 学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

12月に、保護者向けの「学校評価」アンケートを実施させていただき、大変お忙しい中を、多くの保護者の方にご協力いただきました。

結果が整理できましたら、概要を保護者の皆様にお知らせするとともに、いただいた貴重なご意見を来年度の学校経営や教育活動に反映していきたいと考えています。

また、2月に開催予定の第3回学校運営協議会においても、結果を提示し、ご意見をいただく予定になっています。ご協力ありがとうございました。



## 「学校生活の決まり」改定・・・現在の様子

第 25 号でもお伝えしましたが、本校では、生徒の意見も反映する中で、学校生活の決まりの見直しを行い、2 学期末に、①登下校時の靴の色の指定を「白」から「黒・紺・グレーなど派手でないもの」に広げる、②新たに「女子を対象に室内でのカーディガンの着用を認める。色は、黒グレーグレーとする」ことを決定し、3 学期は試行期間としました。

3 学期が始まって2 週間経ちますが、靴の方は、上記の下駄箱の写真のように、各学級に3～4 名程度（在籍生徒数の10% 前後）が、白以外の靴（主に黒色）を履いてきている状態です。また、女子のカーディガンについては、学年や学級でバラツキがありますが、一つの学級で1～数人程度となっています。

学校生活の決まりの見直しにおいては、見直すこと自体も大事ですが、そのことを契機に、決まりの意味を考えることも大事だと思っています。今後も必要に応じて見直しを進めていきたいと思っています。



## 寒さに負けず頑張っています



3 学期に入ってからの体育の授業の様子です。現在、持久走に取り組んでいます。事前に各自が計測したタイムをもとに、同じくらいのタイムの生徒が5 人1 組でグループを作り、200mトラックを10 周します。ペースを確認し合ったり、励まし合ったりしながら、走っています。写真を撮った日は、ハケ岳おろしの北風が吹き、寒い中でしたが、和気あいあい、かつ真剣に取り組んでしました。生徒の頑張る姿に励まされています。

## 進路実現に向けて頑張る 3 年生

3 年生は、先週、最後の進路相談がありました。私立高校の推薦入試・一般入試が始まっており、2 月初旬には、公立高校の前期入試となっています。その後も2 月上旬を中心に、私立高校の入試、そして、3 月5・6 日には公立高校の後期入試となります。私も、本番に向けた模擬面接の手伝いをさせてもらっていますが、3 年生の真剣な眼差しが強く印象に残っています。「みんな、頑張っているな」と思うとともに、「ここまで頑張ってきた力を100% 出し切れるように、ベストコンディションで当日を迎えてほしいな」と心より思っています。15 才で自分の進路を選ぶというのは実に大変なことです。頑張っている本人を、ご家庭とともに、3 学年の職員を中心に本校の職員全員で支えていきたいと思っています。



## 第 3 回小中連携 地域あいさつ運動へのご協力をお願いします

あらためて通知を出させていただきますが、2 月13 日（火）から15 日（木）の予定で、今年度3 回目となる小中連携地域あいさつ運動を行います。この取組は、2018 年度から西中学校区の小中学校（池田小・舞鶴小・西中）で、「自ら進んで明るくさわやかなあいさつができる児童生徒に育てほしい」という願いのもと、保護者や地域の方の力もお借りする中で行っているものです。趣旨をご理解いただき、特に、この期間は、通学途上で本校区の児童生徒を見かけた折には、声かけやあいさつをしていただければと思います。また、この期間中は、朝、本校の生徒玄関に来ていただいであいさつも可能です。参加いただける方は、別に配付される通知を参考に、学校へご連絡ください。よろしくお願いいたします。

## 西中ギャラリー

2 年生の美術科の授業で「構図に思いをのせて」という課題のもと、各自が撮影した写真が、廊下に貼り出されています。タイトルとともにいくつかを紹介いたします。それぞれのタイトルは、①「駐輪所」、②「アリから見た学校」、③「ブルーリング太陽」、④「冬の訪れ」です。他にも個性的な作品が多くあり、つい見入ってしまいます。

